


平成 30 年度	<h1>上下水道事業部の取り組み実績</h1>
	<p><部の構成></p> <p>上下水道計画課、浄水課、上水道工務課、上水道保全課、汚水整備課、雨水整備課、下水道施設維持課</p>

1. 重点施策・事業

(1) 水道施設等の更新・耐震化事業及び上水道施設整備基本計画の策定について	
方向性	水道水を安定的に供給するため、水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に取り組みます。また、上水道施設整備基本計画を策定します。
取り組み	<p>水道管路については、更新及び耐震化事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替えを行います。また、平成 28 年度に着手した鷹塚山配水場更新工事を継続し、津田低区配水場耐震化工事にも着手します。あわせて、上水道施設整備基本計画の策定にあたっては、上下水道経営部と連携を図りながら、取り組みを進めます。</p> <p><鷹塚山配水場 イメージ図></p>  <p><<目標値>></p> <p>耐震性能を有する水道管路の割合 23.3% (参考：平成 28 年度 22.3%)</p> <p>平成 30 年度当初予算：3,984,800 千円</p>
実績	<p>約 8km の水道管路の更新、耐震化事業を行い、約 1,500 件の鉛製給水管の取替えを実施しました。(鉛製給水管率 16.2%) また、鷹塚山配水場更新工事については、3 配水池のうち 1 号配水池が完成し、引き続き 2 号配水池の築造に取り組んでいます。津田低区配水場耐震化工事については実施設計を取りまとめ、工事に着手しました。あわせて、上水道施設整備基本計画の策定については、財政収支を見通した中長期整備計画、短期整備計画を作成し、計画素案の枚方市上下水道事業経営審議会への報告とパブリックコメントを実施の上、計画名称を「枚方市水道施設整備基本計画」として策定しました。</p> <p><<実績値>></p> <p>耐震性能を有する水道管路の割合 24.9%</p> <p>平成 30 年度決算：2,003,865 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="font-size: 1.2em;">【 ◎ 】</p>	

(2) 中宮浄水場更新事業	
方向性	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。

取り組み	基本設計の中で、枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針等に基づき第3次検討を実施し、事業手法の選定を行うなど民間活力の活用に向けた取り組みを進めます。
	平成30年度当初予算：392,100千円
実績	PPP手法導入可能性調査の第3次検討を含めた基本設計を取りまとめ、事業手法について、民間活力を活用するPPP手法のうち、設計・建設・維持管理を民間事業者に一括発注するDBO方式を採用することとしました。引き続き、事業者決定に向けた取り組みを進めます。
	平成30年度決算：377,932千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) 公共下水道汚水整備事業	
方向性	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。また、工場等事業所系の汚水整備については、事業者の整備意向等を踏まえながら、効率的・効果的な手法で水循環の保全を図ります。
取り組み	住居系地域の汚水整備については、概成年度を迎えるにあたり、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。また、工場等事業所系の汚水整備については、平成27年度に着手した枚方工業団地において、今年度完成に向け整備を進めます。
	<<目標値>> 整備人口普及率 97.1% (参考：平成28年度 96.1%) 平成30年度当初予算：1,884,010千円
実績	住居系地域及び整備困難地区における汚水整備工事については、大阪北部地震等の自然災害の影響により、整備工事に遅れが生じていますが、早期の工事完了に向けて取り組みを進めています。また、工場等事業所系の汚水整備については、枚方工業団地内の整備工事を完了しました。
	<<実績値>> 整備人口普及率 96.7% 平成30年度決算：343,125千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(4) 下水道施設の長寿命化対策について	
方向性	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築・更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
取り組み	平成28年度に策定した汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の下水道長寿命化計画に

	<p>基づき、平成 29 年度に実施設計を行い、今年度から改築工事に取り組みます。また、下水道施設全体を一体的に捉え、計画的な点検・調査及び改築・修繕を進めることを目的とした下水道ストックマネジメント計画を新たに策定します。</p> <p>平成 30 年度当初予算：358,800 千円</p>
実績	<p>汚水管渠については、平成 30 年度予定分の改築工事を完了し、ポンプ場遠方監視設備については、工事発注を行い、令和元年度完成に向けて着手しました。</p> <p>また、平成 30 年度末に「枚方市下水道ストックマネジメント計画」を策定しました。今後は、同計画に基づき、下水道施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕に取り組んでいきます。</p> <p>平成 30 年度決算：108,386 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	
<p>【 ◎ 】</p>	

<p>(5) 浸水対策について</p>	
方向性	<p>近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、蹠跏排水区及び楠葉排水区において雨水貯留施設の整備を進めるとともに、下水道事業計画に基づき雨水管渠や雨水ポンプ場の整備を進め、浸水被害の軽減に取り組めます。</p>
取り組み	<p>蹠跏排水区については今年度、楠葉排水区については平成 32 年度の工事完了をめざし、雨水貯留施設の整備を進めます。また、新安居川・溝谷川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や雨水管渠等の整備を進めます。</p> <p> <シールドマシン（サダ雨水貯留管）>  <新安居川ポンプ場の施工状況>  </p> <p>平成 30 年度当初予算：4,630,556 千円</p>
実績	<p>蹠跏排水区・楠葉排水区では、雨水貯留施設の工事を進めており、新安居川・溝谷川ポンプ場では、ポンプ場施設の工事を進めています。また、その他の地区においても、浸水対策として雨水管渠等の工事を進めました。</p> <p>平成 30 年度決算：2,990,487 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	
<p>【 ○ 】</p>	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な整備・更新	財政収支の見通しを踏まえ、アセットマネジメント手法を導入した上水道施設整備基本計画を策定します。また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から民間活力の活用に向け取り組み、平成 37 年度の給水開始をめざします。
実績	<p>「上水道施設整備基本計画」の策定については、財政収支を見通した中長期整備計画、短期整備計画を作成し、計画素案のパブリックコメントを実施の上、計画名称を「枚方市水道施設整備基本計画」として策定しました。</p> <p>中宮浄水場の更新については、平成 30 年 9 月に「枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針」に基づく PPP 手法導入可能性調査を含めた基本設計を策定し、現在、PPP 手法導入に向け、総合評価一般競争入札により事業者選定を行うため、取り組みを進めています。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
32. 下水道施設の長寿命化	下水道施設全体を一体的に捉えて、計画的な点検・調査及び改築・修繕を進めるため、下水道ストックマネジメント計画を策定します。
実績	<p>「下水道長寿命化計画」に基づき、平成 30 年度に予定していた汚水管渠の改築工事を完了するとともに、遠方監視装置更新工事等に着手しました。</p> <p>また、下水道施設全体（管渠・ポンプ場）の点検・調査や、平成 29 年度に実施したポンプ場設備詳細調査を基にしたポンプ場本体の改築計画等を含む「下水道ストックマネジメント計画」を策定しました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、引き続き民間事業者への漏水修繕工事の受注状況を検証し、今年度中に外部委託のあり方と直営体制について方針を示します。
実績	<p>「水道管漏水等修繕工事」については、平成30年4月から登録業者を11社から13社に拡大して、業務の繁忙期や漏水発生の重複時に民間活力を導入し、36件の漏水修繕工事を発注しました。</p> <p>漏水修繕工事の外部委託のあり方と直営体制について、民間事業者の受注状況を検証</p>

	し、平成 30 年度末に一定の方針を示しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置していますが、初期自動化や遠方監視設備の導入による運転状況を踏まえた中で、適正配置に向けて引き続き見直しを検討します。
実績	遠方監視装置更新工事、ポンプ場 ITV 用遠方監視装置設置工事、水路 ITV 用遠方監視装置設置工事の発注を行うとともに、適正配置に向けて検討を進めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
工事発注等に係る事務処理の改善	既存のチェックシートを更新して活用することにより、業務の効率化を進めるとともに、部内に「上下水道事業部設計積算適正化検討部会」を設置し、定期的に設計積算ミス防止に係る対策や研修の実施、情報交換等を行い、事務処理の正確性を確保します。
実績	既存のチェックシートを更新し、部内へ周知するとともに、「上下水道事業部設計積算適正化検討部会」を 5 回開催し、設計積算ミス防止に係る情報交換や研修会の実施等を行い、事務処理の正確性を確保しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
危機管理体制の充実	危機管理マニュアルに基づいて、台風による大雨や地震などの自然災害、漏水事故等による断水に備え、速やかに対応できるように、定期的な訓練を実施します。また、民間事業者や関係機関等との災害支援協定の拡充に向けた取り組みを進めます。
実績	定期的な給水訓練の実施や、各地域での自主防災訓練への参加などを行いました。あわせて、大阪北部地震や台風、大雨の際には、上下水道局内各課で連携し、給水車の派遣や土のう配布などを実施しました。また、災害支援協定などにおいて、民間事業者や関係機関との関係を拡充しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆水道事業については、災害に強い持続可能な水道をめざすとともに、これまで以上の経営の効率化・財政基盤の強化に向けた取り組みを進めます。

実績	持続可能な水道をめざし、将来人口予測や水需要予測に基づくアセットマネジメント手法を用いた「枚方市水道施設整備基本計画」を策定しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆下水道事業については、整備事業に国費を活用するとともに、経費削減に努め、経営の効率化を図ります。

実績	浸水対策事業や汚水管の整備工事、老朽化した施設の更新等に、国費を活用しました。 国費執行額 約 14 億 700 万円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆老朽化した上下水道施設について、事故等を未然に防ぐ予防保全型の維持管理や、計画的な改築・更新を図るために、効率的・効果的な組織運営に努めます。

実績	老朽化した上下水道施設について、事故等を未然に防ぐ予防保全型の維持管理や、計画的な改築・更新を図るために、「枚方市水道施設整備基本計画」及び「枚方市下水道ストックマネジメント計画」を策定しました。また、水道と下水道の施設情報を一元管理し、業務の効率化や危機管理機能を強化するため、「上下水道施設情報管理システム再構築業務委託」を契約しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆水道・下水道事業を将来にわたり安定して継続するためには、企業経営と事業戦略の両面からの取り組みが不可欠であることから、情報の共有化を促進するなど、上下水道局内の連携強化を図ります。

実績	上下水道経営部と上下水道事業部が経営と事業の垣根を越え、上下水道局における現状及び課題を共有化し、積極的にコミュニケーションを図り、課題解決と円滑な事業推進に資することを目的として、「上下水道局 課題検討ワーキンググループ」を設置しました。計 8 回にわたり、上下水道の今後の維持管理やあり方、財源確保策などについて意見交換を行い、連携強化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆水道・下水道事業が、お客さまの信頼の上に成り立っていることを、全職員が再認識し、服務規律の確保を徹底していくため、人権尊重を含めたコンプライアンスの浸透・定着に向けた取り組みを継続的に行っていきます。

実績	各課において人権研修や公務員倫理研修を実施し、コンプライアンスの浸透・定着に 取り組み、服務規律の重要性について職員一人ひとりの再認識に繋げることができま した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

実績	部内での専門研修（設計積算、CAD 研修、水道管漏水修繕）の実施や、外部の研修や 技術講習会への参加など、職員の資質や能力向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

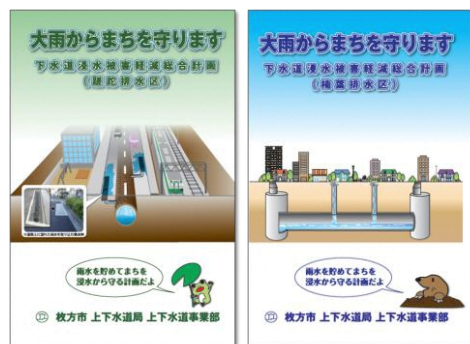
- ◆水環境教育における浄水場見学の推進

枚方市立小学校に対し、水環境教育の一環として、生活に必要な水道水がどのように作られているか等を学習してもらうため、浄水場の見学を推進しています。

実績	枚方市立小学校 2 校が浄水場の見学を行い、枚方市の水道がどのように水処理を行っ ているか学習してもらいました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆下水道事業の見える化

市民の皆様が安心し、より身近に感じてもらえるよう、浸水対策事業等についてホームページやリーフレット等の活用により、下水道事業の見える化を進めます。また、ホームページによる工事の進捗状況のお知らせや現場見学会を実施するなどの情報発信を行います。



実績	浸水対策事業の見える化について、リーフレットの配布や現場見学会を実施するなど、 情報発信に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	